

マーケットの動き（2021年12月6日～12月10日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。11月の米国CPI(消費者物価指数)の上振れによる早期利上げ観測が強まったことに加え、翌週にFOMC（米国連邦公開市場委員会）の開催を控え、投資家の様子見姿勢が強かったことも影響しました。

ドイツ国債市場も、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。

投資環境見通し（2021年12月）

長期金利は米国、欧州（ドイツ）とも、景気動向に沿って緩やかに上昇

米国：部材供給制約に起因するインフレの長期化、FRB（米国連邦準備制度理事会）による早期利上げおよび同ペースに対する思惑から、足元の長期金利の水準はすでに来年に2回程度の利上げ実施が織り込まれているとみられます。新型コロナウイルスの変異型「オミクロン型」を巡る材料が変動率を高める可能性はありますが、当面はレンジ内で推移した後、景気動向に沿って緩やかに上昇すると予想しています。

欧州：欧州（ドイツ）金利は、ECB(欧州中央銀行)が緩和的な金融政策を継続する姿勢を維持するとみられる中、短期的には新型コロナウイルスやインフレの動向に神経質な展開が予想されますが、その後は米国長期金利に連れて緩やかに上昇するとみえています。

	12月10日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	1.49	0.15	▲0.07	0.02	0.57
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース(騰落率)	513.99	▲0.18%	▲0.93%	0.47%	3.05%

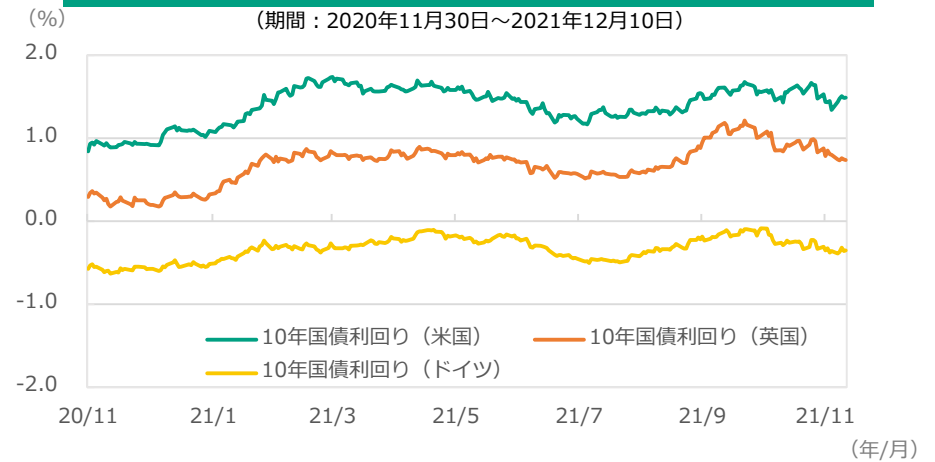
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202112_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移



FTSE世界国債インデックスの推移



※2020年11月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成